

奥州遺産

No.73

ときを越え
受け継がれるもの

玉崎駒形神社(玉崎神社)

Ⅱ 江刺区玉里字玉崎 Ⅱ

県道8号水沢米里線の市営バス雲南
田バス停と玉崎バス停の中間地点、県
道と人首川を南方に見下ろす高台の上
に玉崎駒形神社はある。

延暦22年(803)、坂上田村麻呂が
人首丸討伐の祈願をし、その帰途に従
者の泉磨を神社に奉仕させたのが創建
の由来といわれ、承和年間(834～
847)には僧・真恵が玉崎観音を勧
進し玉泉寺を建立。嘉祥3年(850)
に慈覚大師円仁が十一面観音を安置し
たとされる江刺三十三観音の第三十三
番札所で、打ち納めの霊場である。
また、義経北行伝説では、平泉を
去った義経主従が5日間参詣し、武運
長久と道中の安全を祈願したとされ、
その際に奉納した「源氏の槍」が社宝
として伝えられている。
古代の英雄をはじめ多くの信仰を集
めた玉崎駒形神社は、静寂な森の中か
ら今も地域を見守り続けている。

※宝物殿の見学を希望する場合は事前に及川幸亀(こうき)宮司(☎2411)までご連絡ください



1玉崎駒形神社の拝殿。牛馬の疫病を
救ったことからその守護神とされ、拝
殿の中には多くの絵馬が掛けられてい
る **2**社宝の1つとして伝えられる
「源氏の槍」 **3**宝物殿には5年に一
度の例大祭で渡御されるみこしのほか、
市指定有形文化財の「木造十一面観音
立像」(写真奥)なども保管されている
4毎年9月17日の例祭では地元玉里地
区の和田神楽が奉納される **5**県道8
号から神社へと上る参道の入り口



広告